令和7年3月31日

スタッフ各位

株式会社　徳
ノリックス有限会社・有限会社和公
代表取締役　鷺岡和徳

　前略、今月も業務に専心いただき、ありがとうございます。
すっかり春めいてきました。今年も3月は大相撲春場所などの弁当受注があり、忙しい時期となりました。各三徳庵店舗でも施行件数、会葬者数も昨年より増え、奈良食堂も団体予約が増えているように感じます。阪急百貨店の「四季の折詰　徳」も新商品の人気が高まり、多くのお客様にご購入いただきました。

さて、私たちの日常でよく耳にする「運がいい」や「運が悪い」といった言葉について考えたことがあります。私は「運」というのは自分の目標や考えを持ち、それに向かって努力した時の達成確率だと考えています。その確率は人それぞれで90％の人もいれば50％の人もいます。一見、確率が高い方が「運」がいいと思われがちですがその確率とその人の幸福感は別物です。90％の確率でも満足できない人がいる一方で、50％でも満足する人もいます。運は待っているだけでは訪れません、良き運を引き寄せるためには日々の小さな選択や徳を積み重ねることが必要です。プロ野球のイチローも「小さなことの積み重ねが、とんでもないところに行く、ただ一つの道」と言っています。例えば、人に道を譲ったり、仲間の仕事を手伝ってあげるなどの小さな善行でも、その積み重ねが大きな成果を生むのだと思います。また、人生では予期せぬ逆境に遭遇することもあります。頑張ってもなかなか結果が出ない時もあります。そんな苦しい時は「今は幸せの種を撒いている時期」と考えることが大切と教えられたことがあります。その種はやがていつか芽を出す。すぐに実らなくても、その種はやがて芽を出すと信じていればどんな状況でも前向きに捉えることができると思います。また、先人は「どんな時にも感謝しなさい」と教えています。困難の時期に喜びや感謝を見出すのは難しいことかもしれません。しかし、そうした時こそ命が与えられ、呼吸ができ、家族がいるといった当たり前に思えることに感謝することが大切と教わりました。
こうした心の持ちようが、良い運を引き寄せ、天の計らいが働くのだと私は信じています。

「私たちはお客様のために**常に**新しいことに挑戦し、食生活に**新たな価値**を創造しつづけます。」
すべては自分のために。
すべてはお客様のために。
すべては会社のために。
すべては社会のために。

来月も一緒に頑張りましょう

草々